

海外安全対策情報（平成29年10～12月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は総じて安定しており、唯一店舗を対象とした窃盗のみ増加しているが、他の犯罪は減少又は現状維持である。

また、薬物犯罪に関しては、コカインの所持や売買による検挙者が、Sydney's Inner City 及び Eastern Suburbs において急増している。なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○ シドニー地域

Baulkham Hills and Hawksbury : 強姦 (+43.3%)

Central Coast : 強盗 (凶器を使用しないもの) (+55.9%)

City and Inner South : 強制わいせつ (+30.6%)

Inner South West : 強姦 (+37.8%)

Parramatta : 強盗 (凶器を使用しないもの) (+57.9%)

Ryde : 強姦 (+42.2%)、強制わいせつ (+46.6%)、住居侵入 (34.7%)、
建造物侵入 (+48.0%)、窃盗 (店舗を対象) (+64.7%)

South West : 強盗 (凶器を使用しないもの) (+30.8%)

○ New England and North West : 強盗 (凶器を使用しないもの) (+54.2%)

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行・脅迫、性犯罪等人に対する犯罪は増加 (+7.5%) しているが、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は減少 (-0.9%) している。

特に、飲酒がらみの暴行事件が増加している (+18.1%)。

2 邦人被害

インターネットやSNSを介した詐欺が横行している。特に留学生やワーキングホリデーメーカーに対するシェアハウスの保証金名目等の詐欺が横行していることから注意を要する。

また、タクシー利用時におけるスキミング被害も多数報告されていることから注意を要する。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ組織に対する資金提供罪やテロ準備罪による検挙者が相次いでいる。現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、世界的なテロ発生状況を鑑み、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒する必要がある。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

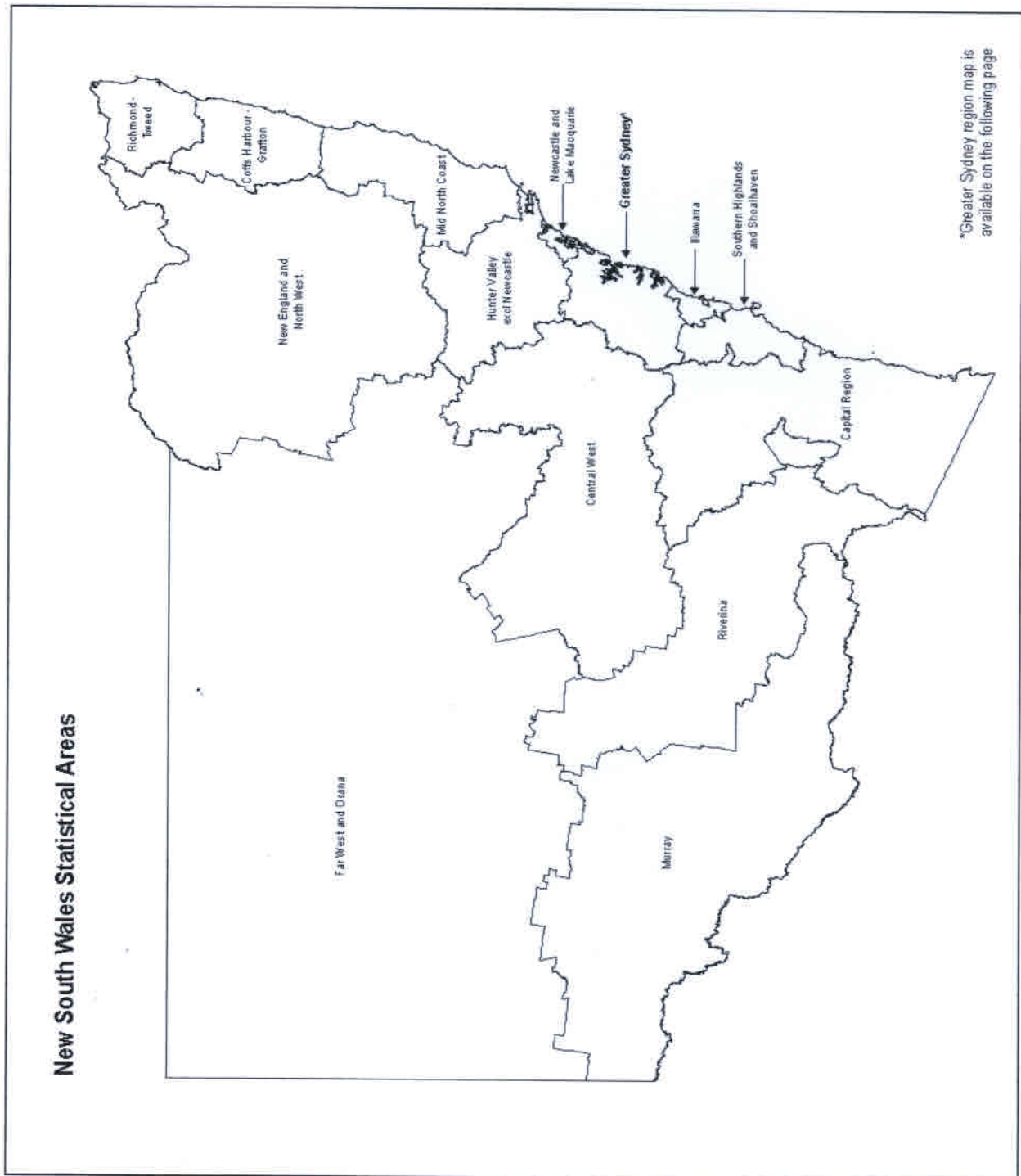
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

※ 統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2017年1月から2017年12月までの1年間と前年同期との増減率）。

APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

